授業名：リベラルアーツセミナー

提出：2016 年 6 月 7 日

政治家の約束について

桜美林大学リベラルアーツ学群　1 年
228D4321 桜林　昴

1. はじめに

安倍首相は、必ず実行するとしていた 2017 年 4 月の消費税増税を先送りする考えを示した。政治家が口にした言葉を守ることについて、私たちはどのように考えるべきだろうか。状況によっては、約束を守らないことも許されるのか、あるいは、どのようなことがあっても約束を守らなければならないのか。増税延期をめぐる安倍首相の発言を契機に、政治家の約束について考える。

2. 背景

日本の債務残高は、1000 兆円を超えている(1)。国民一人当たり、1000 万円程度の借金がある。これを放置していると、円の国際的な信認は失われ、経済は大混乱を来たすことになるであろう。債務を減らすための方策の一つが消費税の増税である。2014 年 10 月に、これまで５％であった消費税率が、８％に引き上げられた。2015 年 10 月には、これが１０％に引き上げられる予定であった。そして、リーマンショック級の経済状況の悪化や、東日本大震災級の大災害が無い限り、「必ず実行する」と確約していた。しかし、安倍首相は、これを 2017 年 4 月に延期し、先般、消費税増税を 2019 年 10 月まで先送りする意向を表明した。

これから行われる夏の参議院選挙を控えて、様々な思惑があると考えられている。

3. 識者の意見

作家の伊藤潤氏は、安倍首相が消費税増税延期を発表したことについて、次のように述べている。

> 「アベノミクスは順調だが、世界経済が大きなリスクに直面している」からと、約束を反故（ほご）にするのはいただけない。サミットでリーマン・ショックを持ち出して布石を打ち、各国首脳のひんしゅくを買うなど、小手先芸に終始した感があります。(中略)支持率が十分高い今だからこそ、長期的な視野で決断すべきです。やると言ったらやる、という強いリーダー像を、安全保障ではなく経済問題で見せる一番の機会だったと思います。(2)

支持率が高いからこそできる政策を実行せず、長期的な展望に基づかない判断には問題があり、リーダーとしての質が問われると指摘している。

慶応大学准教授の谷口尚子氏も同様に、

> 今回、明らかになったのは、安倍政権が最も重要視しているのは「長期政権の実現」ということです。憲法改正に取り組みたいのかもしれませんが、

> 国の根幹に関わる極めて重要なテーマで、賛否両論がある。問題は、こうした重要な争点が有権者にはっきりと示されないまま、国政選挙が進められていくということです。(2)

と、目先の消費税増税について延期することは長期政権の実現と、その先の憲法改正がねらいであると指摘している。そして、国民にそれが明らかにされないままに選挙になることを危惧している。

クリエーティブディレクターの箭内道彦氏は、さらに、今回の選挙だけではなく、政治のあり方についても言及している。

> こうして新聞やテレビで首相の「約束」が守られない部分がクローズアップされれば、増税延期自体の是非をそれぞれが考える以前に、国民は不安になっていく。国民にとっても政治にとっても、不幸なことです。尊敬しあいたいですよね、国民と為政者とは。(2)

言葉が守られることを前提としているはずの政治で、それが守られていないことは、政治に対する不信感を高め、政治が国民から離れていくと指摘している。

4. まとめと結論

消費税の増税も、国の行く末を決める重要なことである。それをいわば、「餌」にして議席数を確保し、長期政権下で憲法改正をしようとすしているのではないか、と谷口氏は指摘した。それは二重の意味で国の行く末について危惧せざるを得ない。国家財政の悪化と共に、現行憲法の改悪も心配になる。だれもが正当と考える理由を示さずに消費税の約束を変えるのは問題がある。

伊藤氏は、約束を安易に破ることはリーダーの資質が問われる、と指摘している。しかし、筆者は、より広い意味で、箭内氏が政治そのものに対する不信感の増長を指摘したことに注目したい。小手先の言葉で、国民をたばかるようなことを続ければ、国民は政治から離れていく。

もしも、政治家がそこまで見越していたとしたら、つまり、政治家がいい加減な発言を繰り返すことの目的が、本当の意味で国の行く末を案じている人々を政治から遠ざけ、少数の現在の政治家が思う通りの為政をするようなことであるとしたら、どうだろうか。約束を守らないこと自身を目的とするようなことはあってはならない。

政治家は、常にその言葉に責任を持ち、約束は守るべきである。もちろん、状況に応じて約束が守れないことがあるかもしれない。どちらにしても、利益を得るのも、また、迷惑するのも、最終的には国民である。そこで、政治家が約束を守らないときには、その理由をしっかりと見極めて、意志を表明していくことが大切であると筆者は考える。

参考資料・引用文献

(1) 日本の財政の状況 財務省
https://www.mof.go.jp/zaisei/current-situation/situation-comparison.html (最終閲覧日 2023 年 6 月 13 日)

(2) 朝日新聞 2016 年 6 月 2 日朝刊 東京版 15 面「リーダーの約束」